

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : パイロシンナー
 会社名 : 株式会社ビルドランド
 住所 : 石川県金沢市八日市 3-514
 電話番号/FAX番号 : 電話 076-269-3414 / FAX 076-268-1663
 緊急連絡先 :
 担当部門 : 技術部
 推奨用途及び使用上の制限 : 工業用、一般化学品
 整理番号 : B-0000D

2. 危険有害性の要約

GHS分類	危険有害性クラス	危険有害性区分
物理化学的危険性	引火性液体	区分2
健康に対する有害性	急性毒性 (吸入:蒸気)	区分3
	急性毒性 (吸入:粉じん/ミスト)	区分4
	皮膚腐食性/刺激性	区分3
	眼に対する重篤な損傷/刺激性	区分2B
	呼吸器感作性	区分2
	皮膚感作性	区分3
	中枢神経	区分1
	特定標的臓器毒性 (単回暴露)	区分1(中枢神経) 区分2(肺) 区分3(気道刺激性)
環境に対する有害性	水生環境有害性 (急性)	区分3

ラベル要素
 絵表示



注意喚起語 : 危険
 危険有害性情報 : ・引火性液体および蒸気
 ・吸入すると有毒(蒸気)
 ・吸入すると有害(ミスト)
 ・軽度の皮膚刺激
 ・眼刺激
 ・中枢神経の障害
 ・肺の障害のおそれ
 ・呼吸器への刺激のおそれ
 ・水生生物に有害

注意書き

【安全対策】 : ・すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと
 ・この製品を使用するときに、飲食又は喫煙はしないこと
 ・熱/裸火/火花/高温の物のような着火源から遠ざけること
 ・防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用すること
 ・静電気放電や火花による引火を防止すること
 ・保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること
 ・屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること
 ・蒸気/ミスト/ヒューム/スプレー/の吸入を避けること
 ・取扱後は良く手を洗うこと

- 【応急処置】 : ・環境への放出を避け、漏出物は回収すること
 ・消火は、粉末/耐アルコール泡/二酸化炭素の消火剤を使用すること
 ・皮膚などについては、多量の水と石鹼で洗うこと
 ・眼に入った時は、水で数分間注意深く洗うこと
 コンタクトレンズが容易に外せる場合には、外して洗うこと
 ・皮膚刺激や眼の刺激が続く時、気分が悪い時、暴露または、
 暴露の懸念がある時は、医師の診断/手当を受けること
 ・飲み込んだ時は口をすすいで、医師の指示を仰ぐこと
 ・吸入した時は、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい
 姿勢で休息させ、医師の指示を受けること
 ・汚染された衣服を再使用するときは、よく選択してから使用すること
- 【保管】 : ・保管する場合は、容器を密閉して、涼しく換気の良い
 場所で、施錠して保管すること
- 【廃棄】 : ・廃棄する場合は、内容物/容器を都道府県知事の許可
 を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること

3. 組成及び成分情報

- 単一品・混合物の区別 : 単一製品
 化学名又は一般名 : 酢酸ブチル(別名:酢酸n-ブチル)

成分名	含有率(%)	官報公示整理番号		安衛法 通知物質	CAS番号
		化審法	安衛法		
酢酸n-ブチル	99.0以上	2-731	2-(6)-226	181	123-86-4

4. 応急措置

下記の応急処置を施すとともに、直ちに医師に連絡を取り、指示に従う。

- 吸入した場合 : 直ちに空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、嘔吐が生じたときは気道へ吸入しないように身体を傾斜させる。
 呼吸が弱い場合やチアノーゼが認められた場合には酸素吸入を行う。
 呼吸が不規則か、止まっている場合には人工呼吸を行う。
- 皮膚に付着した場合 : 直ちに汚染された衣類を脱ぐか取り除き、多量の流水と石鹼で洗うこと。
 汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
 外観に変化が見られたり、痛みがある場合には速やかに医師の診断を受けること。
- 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗い、コンタクトレンズは容易に外せるなら外し、眼の洗淨を続け、直ちに眼科医の手当を受ける。
 洗顔の際、まぶたを指でよく開いて、眼球、まぶたのすみずみまで水がいきわたるように洗淨する。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐かせずに口をすすいで、直ちに医師に連絡すること。
 意識のない場合には、口から何も与えてはいけない。
- 応急措置をする者の保護 : 保護手袋/保護眼鏡などの適切な保護具を着用し、直接の接触を避け、
 取り扱い後は顔や手をよく洗い、うがいをすること。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 粉末、耐アルコール泡、二酸化炭素
 使ってはならない消火剤 : 棒状の注水
 特有の危険有害性 : 火災により刺激性ガスまたは有害ガスを発生するおそれがあるので、煙の吸入を避けること。
 特有の消火方法 : 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して、消火作業は可能な限り風上より行なうこと。
 火災発生場所の周辺に関係者以外の立ち入りを禁止すること。

- 危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周辺に散水して冷却する。
- 消火を行なう者の保護 : 保護手袋／保護眼鏡／呼吸器用保護マスクなどの適切な保護具を着用して煙の吸入を避けること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

- : 作業には適切な保護具(保護手袋／保護眼鏡／保護マスクなど)を着用する。多量の場合は、人を安全な場所に避難させる。必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項

- : 漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。

除去方法

- : 少量の場合は、保護具を着用し、乾燥砂／おが屑／ウエスなどに吸収させて拭き取り、残りは多量の水で洗い流す。
多量の場合は、火気を遠ざけ、換気を良くし、保護具を着用して風上より作業する。盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから空容器に回収する。

二次災害の防止策

- : 付近の着火源となるものを速やかに取り除くと共に消火剤を準備する。火花を発生しない安全な用具を使用する。漏出した場所の周辺には関係者以外の立ち入りを禁止する。万一、河川公共水路等に流れ込んだ場合は、直ちに地方自治体の公害担当者に報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い上の注意

技術的対策

- : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
火気厳禁。裸火、熱または発火源を避ける。
火花を発生しない工具を使用する。

注意事項

- : 眼及び皮膚への接触を避ける。

安全取扱い注意事項

- : 作業場の換気を十分に行い、適切な保護具を着用して作業を行い、取扱後は顔や手などをよく洗い、うがいをする。

保管上の注意

適切な保管条件

- : 直射日光を避け、屋内の涼しく換気の良い場所で、容器を密閉して、施錠して保管する。

高温、低温を避け(常温が望ましく)、発火源から離して保管する。
火薬、酸化性物質、有機過酸化物等の同一場所貯蔵は禁止する。

安全な容器・包装材料

- : 製品使用の容器に準ずる。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策

- : 蒸気・ガス・ヒューム・ミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
機器類は防爆構造とし、設備は静電気対策を実施する。

管理濃度

- : 150ppm (酢酸n-ブチル)
150ppm (酢酸イソブチル)

許容濃度

日本産業衛生学会

- : 100ppm (酢酸n-ブチル)

ACGIH

- : TLV-TWA 150ppm (酢酸n-ブチル)
150ppm (酢酸イソブチル)
TLV-STEL 200ppm (酢酸n-ブチル)

保護具

呼吸器用の保護具

- : 有機ガス用防毒マスクを着用すること。

手の保護具

- : 不浸透性保護手袋着用すること。

眼の保護具

- : 防液眼鏡(普通眼鏡型、側板付き眼鏡型、ゴーグル型)を着用すること。

皮膚/身体の保護具 : 保護衣、保護前掛け、長袖作業衣、保護長靴を着用すること。
適切な衛生対策 : 取扱い後は手などをよく洗い、うがいをすること。

9. 物理的及び化学的性質

外観 : 無色透明～淡黄色透明液体
臭気 : 特異的な溶剤臭
引火点 : 22℃
発火点 : 420℃ (酢酸n-ブチル)
423℃ (酢酸イソブチル)
爆発特性 : 下限=1.2vol%、上限=7.6vol% (酢酸n-ブチル)
下限=1.4vol%、上限=7.5vol% (酢酸イソブチル)
蒸気圧 : 1.2kPa (20℃) (酢酸n-ブチル)
蒸気密度(空気=1) : 4.0 (酢酸n-ブチル) 4.0 (酢酸イソブチル)
粘度 : 0.7357mPa・s (25℃)
密度(比重) : 0.883±0.1 (20℃)
水溶解性 : 水に難溶
オクタノール/水分配係数 : log Pow =1.82
その他 : データなし

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常取扱い(5～35℃の室内/屋内)において安定。
高温にさらされると増粘する。
反応性 : 酸化剤、強塩基、強酸と反応する。
避けるべき条件 : 0℃以下で放置すると凍結し、使用不能になる恐れあり。
40℃以上で長期間放置しない。
高温、火花、裸火、静電気火花に近付けない。
混触危険物質 : 禁水物質。強酸化剤、強塩基、強酸。
危険有害な分解生成物 : 燃焼した時、有害ガス(一酸化炭素、二酸化炭素)を発生する。
酢酸n-ブチルは空気または水分と接触すると徐々に分解し、酢酸とブタノールを生成する。プラスチックやゴムを侵す。
その他 : 情報なし。

11. 有害性情報

急性毒性 (経口)ラット : LD₅₀=約 14,130mg/kg (計算値、区分外)
(経皮)うさぎ : LD₅₀=約 17,600mg/kg (計算値、区分外)
(吸入:蒸気)ラット: LC₅₀=約 2,000ppm(9.5ml/L) (計算値、区分3:吸入すると有毒)
(吸入:ミスト)ラット: LC₅₀=約 391ppm(1.85ml/L) (計算値、区分4:吸入すると有毒)
皮膚腐食性/刺激性 : 皮膚刺激性があるとの報告あり(区分3)
眼の損傷性/刺激性 : 角膜の混濁は2日目に回復、虹彩には影響がみられない。また、結膜の発赤は7日目、14日目に回復している(区分2B)

※以下の情報は製品強化技術基盤機構(NITE)による酢酸n-ブチル、酢酸イソブチルのGHS分類結果に基づく

呼吸器感作性 : 情報なし
皮膚感作性 : 皮膚への感作性は認められないとの報告
生殖細胞変異原性 : in vitro で negative, in vivo の試験結果なしで、分類できないとした。
発がん性 : 情報なし
生殖毒性 : すべての条件で胎児の体重と頭尾長、胎盤重量は有意に小さかった。

- この他にも、多発的な顔面欠損、横隔膜ヘルニア、目の欠損、脳異常形態を含む異常が認められたが、これらとは対照群と比較して有意差を認めなかった。
- 特定標的臓器毒性
 (単回暴露) : ヒトについては、中枢神経区分1、動物試験より区分2のガイダンス値の範囲で肺水腫が見られたので区分2、呼吸器刺激が見られたので区分3とした。
 中枢神経の障害(区分1)
 肺の障害のおそれ(区分2)
 呼吸器への刺激のおそれ(区分3)
- (反復暴露) : データなし
- 吸引性呼吸器有害性 : 20℃の同粘性率は計算値で0.838mm²/secである。
 化学的肺尖の動物データがないため、分類できない

12. 環境影響情報

※以下の情報は製品強化技術基盤機構(NITE)によるキシレン、酢酸n-ブチル、酢酸イソブチルのGHS分類結果に基づく

- 移動性 : 情報なし
- 水性環境急性有害性 : 甲殻類(オオミジンコ) LC₅₀=32,000mg/l/48H
 よって区分3(水生生物に有害)とした
- 水生環境慢性有害性 : 急速分解性がある(BODによる分解度:98%) (酢酸n-ブチル)
 且つ生物蓄積性が低いと推定される (log Kow=1.78)ことから、区分外
- 残留性/分解性 : 分解性あり
- 生体蓄積性 : 低いと考えられる
- オゾン層への有害性 : データなし
- その他 : 情報なし

13. 廃棄上の注意

- 適切な廃棄の方法 : 廃棄する場合は、都道府県知事の許可を受けた専門の収集運搬業者や廃棄物処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規/法令を順守して、適切に処理する。
- 容器/包装の処理 : 空の汚染容器/包装を廃棄する場合は、内容物を除去した後に、都道府県知事の許可を受けた専門の収集運搬業者や廃棄物処理業者と契約し、廃棄物処理法(廃棄物の処理及び清掃に関する法律)及び関係法規/法令を順守して、適切に処理する。

14. 輸送上の注意

- 国内規制 陸上輸送 : 消防法、労働安全衛生法に定められている輸送方法に従う。
- 海上輸送 : IMOの規定に従う。
- 航空輸送 : ICAO/IATAの規定に従う。
- 国際法規制 : 航空輸送はIATA/海上輸送はIMDGの規則に従う。
- 国連分類/国連番号 : クラス3(引火性液体類) / UN 1123
- 容器等級 : III
- 国連品名 : 酢酸ブチル(BUTYL ACETATES)
- 特定の安全対策及び条件 : 輸送に際しては容器の破損/腐食/漏れ等がないことを確認し、転倒/落下/損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にこなう。
 火気厳禁。

15. 適用法令

- 化審法 特定化学物質 : 非該当
- 監視化学物質 : 非該当

消 防 法	危険物	: 第4類 引火性液体 第2石油類 非水溶性液体 (危険等級Ⅲ)
安 衛 法	危険物	: 引火性の物
	表示対象物質	: 酢酸ノルマルブチル (No.9の9)
	通知対象物質	: 酢酸イソブチル (No.9の5) 施行令 18 条
	有機則	: 第2種有機溶剤 (No.19 酢酸ノルマルブチル) 第2種有機溶剤 (No.15 酢酸イソブチル)
	特化則	: 非該当
	通知対象物質	: 酢酸ブチル (No.181) 第 57 条 2 第 1 項
毒物、劇物取締法		: 非該当
化 管 法 (PRTR法)		: 非該当
労働基準法		: 疾病化学物質
船舶安全法		: 引火性液体類
港則法		: 引火性液体類
航空法		: 引火性液体
海洋汚染防止法		: 有害液体物質 (Y 類)
輸出貿易管理令		: 別表第 1 16 項 キャッチオール規制対象物質
道路法		: 車両の通行禁止又は制限対象物質
廃棄物処理法		: 特別管理産業廃棄物 (廃油)
その他		: 知見なし

16. その他の情報

引用文献

: 外部機関による測定データ
製品評価技術基盤機構 (NITE) の GHS 分類結果
JIS Z 7252 :2009 GHS に基づく化学物質等の分類方法
化学物質排出把握管理促進法の MSDS 制度について (経済産業省)
GHS 対応ガイドライン、ラベル作成指針 (日本化学工業協会)
ezCRIC2010 (日本化学工業協会)
溶剤ポケットブック
ICSC (J) (2003)
環境省リスク評価第 3 巻 (2002)

※ ここに記載した内容は、当社の最善の調査に基づくものですが、製品の保証書ではありません。
また、注意事項は通常の手配を対象としたものであって、特殊な取扱いの場合、自らの責任において
用途/用法に適した安全対策を講じた上でご使用ください。